

クリエイティブ京都^{M&T}

Jan. 2006

01

No. 007

Management & Technology for Creative Kyoto

がんばる企業をサポートするビジネス情報誌

CONTENTS

平成18年 年頭のあいさつ	1 ▶ 2
OB人材募集・活用セミナー	3 ▶ 4
京都ビジネス交流フェア2006	5 ▶ 6
中小企業総合展2006	7 ▶ 8
IT関連講座のご案内	9
京都試作プラットフォーム説明会のご案内	10
設備貸与制度	11 ▶ 12
受発注コーナー	13
遊休機械設備コーナー	14
大学リエゾンオフィス紹介	15
組込みシステム研究会	16
けいはんな技術交流会	17
研究報告から	18
業務紹介～材料・機能評価担当から～	19 ▶ 20
調査レポート～2006 景気見通し～	21 ▶ 22
行事予定表	23

京都府産業支援センター <http://kyoto-isc.jp/>

財団法人 京都産業21 京都府中小企業技術センター

「協創」によるイノベーションへの挑戦

京都府産業支援センター会長 立石 義雄



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

今年の干支は丙戌(ひのえいぬ)で、「丙」は草木が伸び行くことを、「戌」は草木が枯れ、春の芽吹きに備える意味があるそうです。景気に明るさが見えてきた好機を活かし、力強く成長し続ける年にしたいものです。

昨年、国内外で人間社会の本質に関わる安心、安全、環境、健康を揺るがすような事件や事故が相次ぎました。これに対して、これまでのような生産性・効率性の追求一辺倒ではなく、安心・安全の確保、環境の保護、資源・エネルギーの節約・代替、健康の維持・増進といった人間社会が持続可能な、いわゆる人間性の追求との最適なバランスを求める新たな価値観が社会に相対的に広がってきています。

このような価値観に基づく新たな社会観やパラダイムを感知して、グローバルに通じるコンセプトと構想力によって「イノベーション＝新しい価値創造」にチャレンジすることが、社会から強く求められ、それに応えることが新しいビジネスチャンスになると考えています。しかし、そのような社会的課題を解決するソーシャルニーズの大きさ、広さ、深さから見て、すべてを自前で解決することには無理があります。これからは自前に固執せず、他の産学公と機能的に連携する「協創」によってイノベーションに挑戦し続けることが重要となります。

「協創」とは補完し合うというような弱い連携ではありません。自分の強みを磨き上げた者同士が、新しい価値を創造するという共通の目的を目指す「志の高い」連携です。企業にはCSR(企業の社会的責任)の実践、大学には研究・教育成果の社会への還元、行政には活力と魅力ある地域づくり、科学技術創造立国を目指す日本には課題解決先進国として国際社会から尊敬される国づくりという意義があり、ここに産学公連携に取り組む原動力があると考えています。

京都のポテンシャルを活かしたケータイ、試作、ウェルネス、環境産業など新たな産業創出にも産学公の皆様との「協創」は必要不可欠です。昨年4月、京都経済の基盤となる中小企業の皆様にお役に立つサービスの強化を図るため、経営サービスを担う財団法人京都産業21と、技術サービスを担う京都府中小企業技術センターの2つの組織のホールディングカンパニーのイメージで「京都府産業支援センター」を設置いたしました。

当センターとしても強みである中小企業の皆様との接点の「質と量」を磨き上げて「協創」に参画してまいりたいと考えています。ワンストップ相談窓口などの機能を更に充実し、顧客である中小企業の皆様のニーズに応えてまいりますので、皆様の一層のご理解とご利用をお願い申し上げます。新年にあたり、皆様の益々のご繁栄、ご健勝を心からお祈りいたします。

「信頼」と「絆」できずく安心・安全な「京都」づくり

京都府知事 山田 啓二



府民の皆様、新年あけましておめでとうございます。

21世紀の新たな扉が開かれて、はや6年を迎えます。

景気や雇用は以前に比べ明るい兆しが見えてきたといわれていますが、昨年は、子供たちの悲惨な事件が相次ぎ、ご家族やご親族の方々には、心よりお悔やみ申し上げます。また、アスベスト被害や建築確認申請の偽造問題など、日々の暮らしを脅かす事件が続発する中で、今までの日本を支えてきた安心で安全な社会、豊かな心をもった家庭と地域といったイメージが薄らいでいく危機感を持たざるをえない1年でありました。

こうした中、京都府では、何よりもまず府民の皆様の地域での安心・安全を確保することに全力を挙げて取り組んでまいりました。加えて、少子高齢化や治安の問題など様々な課題

に立ち向かい、府民の皆様の暮らしと生命を守るためには改めて「挑戦しなければ前進なし」という気概で、これまで以上に一步「歩み」を進めたところから行動しなければならないと、誓いを新たにしているところであります。

しかし悲観的なことばかりではありません。昨年は、地球温暖化防止に向けた「京都議定書」が発効した年でありましたし、京都迎賓館の開館を機に多くの要人が入洛され、「京都」を世界にアピールする中、観光は大変好調に推移するなど、「京都」の持つ魅力が発揮された1年でもありました。

私たちの「京都」は、豊かな自然環境との共生の精神を育み、世界に誇る伝統と文化をもち、独創的な人材やものづくりの歴史・風土を培ってきました。日本が世界と交流する舞台として多くの人たちが集う「京都」は、「人」「もの」「情報」が国内外をめまぐるしく行き交い、日本のアイデンティティが問われる現代にあって、日本の未来を担う大きな可能性を秘めている地であると思います。

京都のもつこうした可能性を開花させ、京都の育んできた人の心を大切にすることにより地域の力を再構築していくため、私は人と人との間にあるものを今一度見直す中で、「人・^{にんげん}間中心」の京都づくりを、府政運営の基本に据え進めてきました。

これからも弱い立場にある人に配慮しながら、伝統やものづくりの中小企業、世界に誇る文化・学術を担う人々、農林水産業など今日の自然の恵みを紡ぎ出す人々など、「京都の力」を具現化している多くの人々との連携の下、「信頼」と「絆」を大切にすることを通して、府民一人ひとりが未来に希望のもてる安心で安全な、そして元気な「京都」づくりに、全力をあげて取り組んでいく決意でありますので、引き続き本年も、京都府政への変わらぬご支援をお願いいたします。

結びにあたり、府民の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

「企業等OB人材マッチング事業」「創援隊推進事業」合同イベント OB人材募集・活用セミナー

「あなたの豊富な経験を中小企業の応援に活かしてください」をキャッチフレーズに、平成17年12月5日(月)新・都ホテルにおいて、セミナーが開催されました。京都商工会議所坂口俊一氏による開会挨拶の後、基調講演、OB人材活用事例、企業等OB人材マッチング事業、創援隊推進事業について講演が行われました。当日は120名の参加者があり、中身の濃い講演にOB人材とその支援を受けられる中小企業、ベンチャー企業のみなさんが熱心に受講されました。講演後には個別相談会も開かれ、会場は熱気に包まれていました。



基調講演 企業等OB人材の民間企業を 中心とした積極的再活用

吉田 丹治氏
(KSVU会長、NPO法人XOクラスター理事長・
オムロン株式会社OB)

今、企業のOB人材がたくさん輩出されています。現在のおおむね60歳を越えたOBの方々、10数年前、日本が特にモノづくり関連ビジネスで世界の頂点に近いところまで登りつめていた時代に、中核としていろいろと活躍されてきた方々です。そして、大企業、中堅企業の国際化の中でさまざまな苦勞をし、ノウハウ、スキルや人脈をたくさん持っている人が多いのです。

「企業等OB人材マッチング事業」は、そういう経験と実績を積まれたOBが低額の手当てで企業等を支援奉仕する大変経済効率の高い、中小企業の皆さんの喜んでいただけるシステムであると思っています。また、これからますます進む高齢化、健康長寿社会に向けて、シニアが元気に、病気にわずらわず活躍をする21世紀の大事な社会機構の一つとして、中央省庁の方も大変注目しています。

一方中小企業において、単なる下請型のビジネスモデルで進めているところは発展途上国の台頭、国内産業の空洞化等で苦しんでいます。また、自社製品を持っていても、従来型の商品はモノ余りの中で生きにくくなり、社長をはじめ、ひとり何人かということと頑張りとおられても、だんだんと競争力が低下し、厳しくなります。

企業が存続するためには、まずお客様ありきということで、お客様に喜んでお買い求めいただく、顧客満足度を一番重視しなくてはならないと思います。大企業においても、今までは造ればなんとかお買い上げいただけたのですが、これからはますます厳しくなり、客観的な自社の強さや、あるいは参入している、又はこれから参入しようとしている市場の魅力度をかなり厳格に分析し、対応していますが、中小企業も同様でなければならぬと思います。

OB人材は大企業・中堅企業でかなり苦勞され、たくさんの修羅場をくぐって来ているので、中小企業の色々な課題に対して大いに役立ち、かなりの成果が期待できるのではないかと考えています。

これからの社会は、シニアがビジネスの分野でも「積極的に価値の高い何ができるのか」が問われる時代にもなってきているのだと思います。中小企業においても会社のおかれた立場を色々な角度から厳しくチェックし、また、自前でチェックができない場合は、OB人材に応援を仰ぐというように積極的に活用することで成果を上げるべきだと思います。もちろん、中小企業、OB共々新たに学びあうという姿勢が必要になります。本事業には70数名のOBの登録がありますが、本年度中に登録の倍増を考えています。このセミナーに参加いただいている会社はもちろん、参加いただけなかったみなさんの悩みに対して、概ね対応することができるのではないかと考えています。確かな実績もいくつか挙がってきています。是非、ご活用いただきたいと思います。



OB人材の活用事例

榎田 竜一氏
(キョーラク株式会社 栗東工場 工場長)

OB人材活用でアドバイスを受け、1年が経過し、その活動事例を説明いたします。

当社の工場は、正社員が21名、人材派遣の社員が55名です。受注生産でメディカル関係の点滴容器の製造がひとつの柱で、それ以外はソースの容器やトイレタリの容器を生産しています。

OB人材を活用した理由は、社内の雰囲気を変えようということがありました。個々の社員のやる気を出させるのが一番と考えていました。いろんな経験をもっておられるOBの方の活用は、費用面で気軽にご相談できるということでした。

はじめに、管理職がどう変わらなければならないかというテーマについてディスカッションをいたしました。どんな工場にしたいのか、三現主義で課題発見の力をつける、課題解決実現力、顧客満足への対応力等を下の従業員におろして徹底していくという提案を受けスタートいたしました。次に、期末のスタートの計画の立て方・やり方をどのようにして具体化していくのか等について、私を含めて上のものとの打合せをしています。

- ・栗東工場を最終的に当社他工場のモデル工場にする
- ・各種データと現場からの課題抽出をしっかりとやる
- ・時間をきめて結果が出たのか、出なかったのかの結論を出すような実行計画をつくる

ということからスタートしました。不良品率の低減、在庫の削減、経費の削減については、今までもやってきてはいたしましたが、異なる視点でアドバイザーの方にみていただきました。

活動の成果ですが、工場生産高比利益率が実際に上りました。結果が数字で表れていますので、社員のやる気につながっているのだと思います。この部分が一番大きな成果ではないかと考えています。アドバイザーからは、今後は継続が課題だといわれています。来年からは自力で改善を続けていきたいと考えています。



企業OB人材マッチング事例 京都協議会のこれまでの取り組み マッチング事例

中塚 能男氏
(企業等 OBマッチング京都協議会コーディネーター)

今年6月に企業等OB人材マッチング京都協議会が実質的にスタートしました。7月に事業説明チラシを配付。OB人材の登録者を一定数確保することが先決ということで、7月から9月にかけてOB人材の発掘・

登録の活動を中心におすすめしました。現在登録数は70数名です。そして、10月に府内の商工会議所会員企業を対象にOB人材にアンケート調査を実施、11月には府内の会員企業を対象にした説明会を7カ所で行いました。その時に10月に行ったアンケートの結果をもとに関心を示された企業に呼びかけて、相談会を実施しながら、OB人材ニーズの発掘に努めました。

次にマッチング事例をご紹介します。京都協議会では10月からマッチングをスタートしました。京都協議会としての第1号のマッチング事例は京都市の有限会社ヘルステックです。事業内容は、健康機器(高気圧・高濃度酸素シャワーカプセル他)の開発販売です。OB人材の支援内容はFRPカプセルの成形技術・製品開発支援と最適な外注先との提携で完成度の高い製品に仕上げるといことです。

支援効果は、

- ①OB人材のアドバイスで技術課題が一举にクリア(見込)
- ②OB人材の人脈で最適な外注先とスピード提携
- ③短期かつ低コストで開発(見込)

が挙げられます。来年1月には1号機が完成し京都のスポーツジムに納入の予定と聞いています。支援を受けられた経営者は本当によいタイミングでOB人材マッチングを活用でき、事業の先行きが一举に開けてきたと非常に喜んでおられます。



OB人材登録・活用の事業案内
**1.「企業等OB人材マッチング事業」
のご案内**

星川 孝宜 氏
(日本商工会議所 中小企業振興部 課長)

事業の目的は、企業の経営戦略の見直しや新事業の展開を図るために知識・ノウハウを持つ人材を必要としている中小企業と、退職後も自らの知識・経験・ノウハウをいかしたいという意欲を持ったOB人材とのマッチング(出会いの場の創出)を支援し、ひいてはわが国中小企業の活性化を図ることを目指しています。

経済産業省・中小企業庁の重点施策であり、今年で3年目。日本商工会議所(全国協議会)が事業を受託し、全国47都道府県の地域協議会と523の商工会議所のネットワークを活用して実施されています。

OB人材には、人材派遣や雇用関係を求めるのではなく、中小企業支援を生きがいに感じるような、ボランティア精神の豊かな人材が求められています。



OB人材登録・活用の事業案内
2.「創援隊推進事業」のご案内

岡本 圭司 氏
(京都府商工部産業支援室 室長)

京都はベンチャーの都といわれ、色々な企業が輩出しています。最近、ものづくりの分野で飛び抜けたベンチャーが出ていないのではないとも言われており、ベンチャーの登竜門のような施策をしていますが、どうもプレーヤーの伸び悩み傾向が感じられます。こうした原因をOBの方々にお聞きしますと、1つはまとまった資金確保、1つは販路開拓がネックになっているとのこと。

京都府においては、ベンチャー支援として資金面で、3年にわたる1億円を上限とする支援資金、あるいは総額23億円のファンドも立ち上げ、税制支援、融資制度とともに充実をはかってきました。ただ、こうしたファンド及び研究開発支援資金においては成果が出るのはまだまだこれからだと思っています。

さらに、ベンチャー支援のもう一つの課題の販路開拓ですが、販路開拓支援として立ち上げましたのが「創援隊推進事業」です。その具体的販路開拓である創援隊交流会は、これまでに合計18回開催し、400件を超える販路の紹介をいただき、そのうち約50件は商談に至っています。また、約20件は一次成約までに至っています。OBの方々には、創援隊の隊員として参加いただき、ベンチャー企業の販路開拓の応援団としてご協力いただけますようお願いいたします。



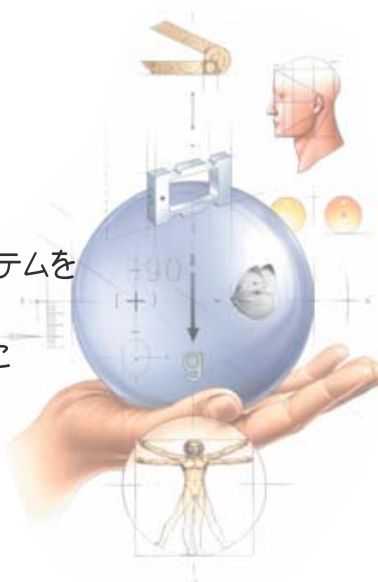
【お問い合わせ先】

(財)京都産業21 新事業支援部
ベンチャー支援グループ

TEL:075-315-8848 FAX:075-323-5211
E-mail:shinjigyo@ki21.jp



計ることの未来を
見つめ続けるイシダは、
さまざまな計量機器・システムを
ご提供することで、
豊かな明日の社会づくりに
貢献してまいります。



**夢も未来も
はかりたい**

株式会社イシダ <http://www.ishida.co.jp>

本社 京都市左京区聖護院山王町44番地
〒606-8392 Tel(075) 771-4141

東京支店 東京都板橋区板橋1丁目52番1号
〒173-0004 Tel(03) 3964-6111

滋賀事業所 滋賀県栗東市下鈎959番地1
〒520-3026 Tel(077) 553-4141

『京都ビジネス交流フェア2006』のご案内

～変わろうとするものたちへ。京都から。～

日時：2006年2月23日(木)24日(金) 10:00～17:00 (24日は16:30終了)

場所：国立京都国際会館(京都市左京区宝ヶ池)

主催：京都府 財団法人京都産業21



開催イベント

京都ビジネスパートナー交流会2006 (会期中を通して開催)

●中小企業展示コーナー 出展企業:127社11グループ 10:00～17:00 (24日は16:30終了) **イベントホール**

●京都試作産業推進コーナー(中小企業展示コーナー内)、新事業支援機関コーナー

●技術アライアンスコーナー 参加メーカー:54社 11:00～16:00 **アネックスホール**

きょうと産学連携ビジネスミーティング(会期中を通して開催)

●産学連携成果プレゼンテーション

●大学、研究機関テーブル出席・相談サロン

●大学、研究機関ポスター・パンフレットセッション

●金融機関相談コーナー

2月23日開催

●京都“ぎじゅつ”フォーラム2006 10:30～12:10 **ルームB**

●情報化プラザ 13:00～16:00 **ルームC**

2月24日開催

●京都ものづくりフォーラム2006 10:30～12:00 **ルームA**

●2006国際化セミナー 13:30～15:00 **ルームB**

出展企業一覧

●自動化機器・生産設備設計～製作

NKE(株) 秀峰自動機(株) 株式会社ハタナカ
 (株)メカテック (株)山岡製作所 (株)山城技研工業

●金型設計～製作

プロニクス(株) (株)山崎

●精密機械加工

(株)アライドレーザー (株)オージーファイン 荻野精工(株) (株)桶谷製作所 河原鉄工(株) (株)木村製作所
 (株)草川精機 小西精工(株) (株)阪口製作所 佐々木機械(株) (有)三翔精工 (株)山豊エンジニアリング

(株)シオガイ精機 (株)清水製作所 城陽富士工業(株) (株)信栄テクノス (株)積進 大和技研工業(株) 田中精工(株) (株)タムラ (株)タンゴ技研 (株)DG工業

中西機械(株) (株)長濱製作所 (株)ナンゴ 西村鉄工(株) (有)日光電機製作所 (株)日昌製作所 (株)日進製作所 ヒロセ工業(株) (株)ミネヤマ精機 (株)山口精機製作所

●精密板金・製缶加工

(株)アールエンジニアリング (株)アストム 伊東板金工業(株) 掛津アーム(有) (株)神村製作所 (有)新和製作所 (株)誠工社 (株)セイワ工業

誰でもつき合える機械ほど、
 すごい技術が隠されている。
 ひとりひとりの人に、
 機械のほうから合わせてくれる。
 そんな、人と機械の関係。
 センシング&コントローラ技術で、
 人と機械のベストマッチングを。



OMRON
 Sensing tomorrow™

(株)大栄製作所 (株)田中鍍金 (株)日豊製作所 濱田プレス工藝(株)	(有)ビックバン (株)ミツワ製作所 (株)山ノ内製作所
●鍛造・鋳造	
(株)大宮日進	(株)峰山鉄工所
●表面処理	
(株)旭プレジジョン 上田鍍金(株) (株)キョークロ	(株)栗田製作所 協業組合丹後熱処理センター メテック北村(株)
●特殊加工	
共栄工業(株) (株)サンセイ (株)セムテックエンジニアリング	(株)ピースパッタ (有)平山製作所 美濃商事(株)
●成型・樹脂機械加工	
(有)木村エンジニアリング (株)セネック 東海電工(株)	(株)西山ケミックス (株)ムラカミ (株)ヤスタモデル
●電気・電子機器	
アルメックスコーセイ(株) (株)イー・ピー・アイ 木下電子工業(株) 共進電機(株) (株)京都クリエイティブマシン 京都電子工業(株) (株)富士製作所 和免技研(株) シライ電子工業(株)	双和電機(株) 高槻電器工業(株) (株)西嶋製作所 日本電気化学(株) 藤田電子製作所 (株)保全工業 マイクロテスト(株) ユメックス(株)
●木材工芸・木型	
(有)廣部機型製作所	(株)ミタテ工房
●情報技術・ソフト	
インフォテック(株) (株)エーディーディー (株)コギト	デジタルソリューション(株)・ショウドウ・ウィーブス(株) (株)ハイパーテック (株)フエムト
●自社開発製品	
(株)EVメルテック 栄進電機(株) (株)旺辰電工 京都タナック(株) (株)國陽	シーク電子工業(株) (有)シバタシステムサービス JONAN(株)城南電器工業所 相楽工業(株) (株)タイセイ



(前回交流会オープニングセレモニー)

タカス技研 (有)置工房ヨシオカ 帝新商事(株) (株)東洋レーベル 中沼アートスクリーン(株) 西田製函(株)	ニューリー(株) フェニックス電子(株) (株)松岡機械製作所 (株)松菱製作所 (株)山科電機製作所 (株)理工化学研究所
●試作	
(株)アキュレイト 京都試作ネット 京都試作プラットフォーム 京都テクノロジーユニット	京都でんき試作ねっと 三幸総研(株) (有)杉浦商店 (有)永政
●その他	
(有)エフ・ディー・サン (株)遠藤写真工藝所 (株)大槻シール印刷 (株)カスタネット	(株)カワイプロ (株)京都木造建築研究所 京仏具(株)小堀 小林金属興業(株)
●グループ・団体	
協同組合日新電機協会の 京都機械金属中小企業青年連絡会 京都府電子機器工業会 京都府鍍金工業組合	久御山町受注グループ協会 「エージフレンド久御山」 丹後機械工業協同組合 マープ工房 舞鶴工業集積協議会

ガイドブック無料進呈!!

京都ビジネスパートナー交流会出展される企業情報を掲載したガイドブックを無料で進呈します。ご希望の方は、下記お問い合わせ先までお申込ください。

【お問い合わせ先】

(財)京都産業21 産業振興部
マーケティング支援グループ

TEL:075-315-8590 FAX:075-315-9240
E-mail:market@ki21.jp

ベンチャー企業支援室のご案内

業務内容

- ベンチャーファンドによる株式投資やご融資を通じて、事業資金のサポートを行います。
- 公的機関・大学等との連携により、各種支援施策の有効活用や技術情報の収集などを図り、ベンチャー企業の成長をバックアップしていきます。
- 色々な分野の専門家や専門機関を活用し、経営相談やM&Aなど幅広いニーズにお応えします。



飾らない銀行
京都銀行 法人金融部

お問い合わせは

ベンチャー企業支援室 TEL.075(361)8600
京銀KRPベンチャーデスク TEL.075(315)9076

中小企業総合展2006 In Kansai

市場創出と販路開拓による中小企業の経営革新の促進

京都から10社が出展！
皆様のご来場をお待ちしております。



「中小企業総合展」は、優れた製品・技術やビジネスモデル等を有する中小企業が展示やプレゼンテーション等により、取引相手や販路開拓先、事業連携先となり得る他の出展者や来場者とのマッチングを行う機会を創出することを目的とした総合見本市で、昨年10月の東京会場に引き続き、大阪会場にて開催いたします。

是非ともご来場いただき、京都から参加する中小企業の優秀な技術や製品等をご覧ください。

また、本展示会については、**財団ホームページ「Virtual展示会」** (<http://www.ki21.jp/tenji/index.html>) においても、ご紹介しておりますので、ご覧ください。

大阪会場（インテックス大阪）

【開催日時】 平成18年1月25日(水)～1月27日(金) 10:00～17:00 (最終日16:00終了)

【開催場所】 インテックス大阪 6号館Aゾーン
大阪市住之江区南港 (<http://intex-osaka.com/>)

【出展区分】 環境・エネルギー／新製造技術・製品／IT／生活サービス／ビジネス支援／加工技術・部品／他

●大阪会場に出展する企業・グループをご紹介します。(五十音順)

(有) イーダブルシステム

イーダブルシステムは触覚センサを提供します

所在地:〒619-0232 京都府相楽郡精華町桜が丘一丁目9-1
代表者:代表取締役 森元 賢一
TEL:050-5000-9193 FAX:050-5000-9193
資本金:500万円 従業員:2人
担当部署: 担当者:森元 賢一
URL:<http://www.ewsystem.co.jp>
E-mail:info@ewsystem.co.jp



P R ● 触れて感ずる、安価な圧力面センサーを開発。その応用システムを提案します。

- ①どこに触れても感じるロボット
- ②安価なシステムで部屋の高齢者を見守れるシステム
- ③3次元で入力できるゲーム用入力装置

出展品●①ロボットの腕の触覚システム ②介護室の床センサーシステム

(株) 血管美人

血流観察体験会実施中(あなたは、どろどろ?)

所在地:〒611-0012 京都府宇治市羽戸山4丁目1-24
代表者:代表取締役 武野 剛
TEL:0774-32-8262 FAX:0774-32-8262
資本金:1,000万円 従業員:3人
担当部署: 担当者:武野 剛
URL:<http://www.kekkan-bijin.com>
E-mail:info@kekkan-bijin.jp



P R ● 指先の爪上皮の毛細血管の血流をテレビモニターに拡大して映し出し、血流や血液の状態から現在の健康状態を目視により確認し、毛細血管像の形状の変化により長期的な健康状態をチェックすることができます。メーカーリール品と同様に自動マウント対応が可能です。

出展品●無採血血流観察システム「血管美人」

(株) 小堀

のぞいてみませんか「仏具屋さんの舞台裏」

所在地:〒600-8159 京都市下京区烏丸通正面路上
代表者:取締役社長 小堀 賢一
TEL:075-341-4121 FAX:075-341-4128
資本金:6,000万円 従業員:84人
担当部署:本店 担当者:田中 良幸
URL:<http://www.kobori.co.jp/>
E-mail:info@kobori.co.jp



P R ● 全国浄土真宗寺院の内装工事や仏具の新調・修復。

- 全宗派寺院にオリジナル納骨壇。
- 家庭向けには全宗派の京仏壇や唐木仏壇、洋間にも調和がとれるデザイン仏壇等。

出展品●①タイムドメイン方式スピーカーを使用した寺院音響システム ②インターネットを駆使した注文仏具の製作工程公開サービス ③LEDを採用した仏具照明など

(有) 三翔精工

高精度、高品位の製品を短納期でお手元へ!

所在地:〒612-8381 京都市伏見区下鳥羽段田町17番地1
代表者:代表取締役 三木 誠治
TEL:075-605-3366 FAX:075-605-3367
資本金:1,000万円 従業員:20人
担当部署:営業 担当者:三木 誠治
URL:<http://www.sansyo-seiko.co.jp>
E-mail:sansyo-1@celery.ocn.ne.jp



P R ● 比較的小さな部品を数百～数千個単位で精度を安定させた物作りを得意としています。展示品の多くはマシニングセンターだけを使い、切削の可能性を追求した品々です。

出展品●①肉眼ではまったく見えない世界一小さなサイコロ ②削り出し多連リング ③内コーナピン角製品 ④その他切削加工品 ⑤精密ルービックキューブ

(株) 積進

難作材・小物複雑形状・大物精密部品はお任せ下さい!

所在地:〒627-0042 京都府京丹後市峰山町長岡1750-1
 代表者:代表取締役 田中 隆司
 TEL:0772-62-1020 FAX:0772-62-6000
 資本金:4,800万円 従業員:90人
 担当部署:専務取締役 担当者:田中 安隆
 URL:http://www.sekishin.co.jp/
 E-mail:info@kyoto.sekishin.co.jp



- P R** ● 同時5軸マシニングセンタで加工した複雑形状のサンプルを多数展示します。また、完成した製品サンプルだけではなく、実際にマシニングセンタで加工しているシミュレーション映像を公開する予定です。
- 出展品** ● ①難作材加工品サンプル(チタン・タングステン)
 ②複雑形状加工品サンプル(インペラなど)

丹後機械工業(協)

未来を拓くテクノロジー。丹後ハイテクランド

所在地:〒627-0042 京都府京丹後市峰山町長岡1620-1
 代表者:理事長 今西 俊明
 TEL:0772-62-0263 FAX:0772-62-6276
 出資金:9,715万円 会員数:110人
 担当部署:専務理事 担当者:寺田 昭夫
 URL:http://tango-tc.jp
 E-mail:info@tango-tc.jp



- P R** ● 京都北部の日本海に面した当地域は200社以上の機械金属関連業者が集積。業種は精密型打鍛造、精密機械加工、精密機械装置製造等。各企業は最新鋭設備(NC、MC機械500台以上)で製品の高付加価値化を展開しています。
- 出展品** ● 丹後機械金属業界を代表する企業数社による ①精密鍛造品から一貫生産による機械加工部品 ②同時5軸制御加工等による精密機械加工品

帝新商事(株)

3D-オーバーレイシステム ー塗る塗装から貼る塗装へー

所在地:〒612-8448 京都市伏見区竹田東小屋ノ内町86
 代表者:代表取締役 林 伸
 TEL:075-602-0291 FAX:075-601-0380
 資本金:1,000万円 従業員:40人
 担当部署:研究所 担当者:中野 康彦
 URL:http://www.joho-kyoto.or.jp/~teisin/
 E-mail:teisin@mail.joho-kyoto.or.jp



- P R** ● 従来の塗装は何層もの重ね塗り工程を経て行なわれていましたが、本システムでは裏印刷の施されたフィルムを用いて、複雑な凹凸構造をもつ3次元面への塗装と共に低コスト/パフォーマンスを実現しました。本システムにより作製した各種3D-成型品を展示します。
- 出展品** ● 3D-成型品
 ①敷台 ②額縁 ③電話器 ④天板 ⑤便器 ⑥システムキッチン扉等

(株) 仲西工務店

AFC工法 ー地震・台風に強く手抜きのできない木造建築ー

所在地:〒612-8462 京都市伏見区中島秋ノ山町75
 代表者:代表取締役社長 仲西 輝夫
 TEL:075-601-0375 FAX:075-601-6360
 資本金:1,000万円 従業員:4人
 担当部署:専務取締役 担当者:仲西 嘉
 URL:http://www.nakanishi-koumuten.co.jp/
 E-mail:info@nakanishi-koumuten.co.jp



- P R** ● 木造在来軸組の特殊接合金物で、建築基準法、品確法、国土交通省告示1460号に適合。ボルト不要で手抜き工事を防止。国土交通省の新技术情報(NETIS)のホームページに「建築/木工事」で唯一紹介されています。
- 出展品** ● ①木材に接合金物を取付けた実物見本 ②耐震耐風を向上する特許工法
 ③シンプルな5種類の接合金物

(株) 西嶋製作所

品質の信頼性を、お試し下さい! 年間品質を、良好安定させます!

所在地:〒612-8338 京都市伏見区舞台町41-4
 代表者:代表取締役 西嶋 晃次
 TEL:075-603-2233 FAX:075-603-2277
 資本金:3,000万円 従業員:40人
 担当部署:営業部 担当者:西嶋 亜紀彦
 URL:http://www1.odn.ne.jp/nsjms/
 E-mail:akihiko@nishijima1938.co.jp



- P R** ● 秘密保持契約のため組立品現物や複雑な加工部品は展示できませんが、充分弊社の雰囲気を見抜いていただけます。ISO-9001は当たり前! ISO-14000今年度認証取得に向け活動中!超合理的製造システム再構築中!
- 出展品** ● ①医用機器・分析機器等の精密・複雑と出来映えの良い加工部品
 ②電子機器の高品質な組立品やユニット組立品の写真パネル

(株) ヤスダモデル

モニュメント・からくり時計のヤスダモデル

所在地:〒612-8462 京都市南区久世築山町379-4 久世工業団地
 代表者:代表取締役社長 安田 清之
 TEL:075-933-2252 FAX:075-933-2253
 資本金:1,000万円 従業員:21人
 担当部署:営業課長 担当者:越川 勇人
 URL:http://www.yasudamodel.co.jp/
 E-mail:yasudamo@oak.ocn.ne.jp



- P R** ● デザインコンセプトの立ち上げから製作に至る「デザイン・設計・施工」すべてをお引き受けいたします。また、建築模型・住宅模型・資料展示のメカ模型などもお引き受けできます。お気軽にご相談ください。
- 出展品** ● ①FRP製品 ②木型 ③真空成形品

※東京会場(10月12日(水)~10月14日(金)東京ビッグサイト)につきましては、引き続き**財団ホームページ「Virtual展示会」**(<http://www.ki21.jp/tenji/index.html>)においてもご紹介しておりますので、ご覧ください。

【お問い合わせ先】

**(財) 京都産業21 産業振興部
 マーケティング支援グループ**

TEL:075-315-8590 FAX:075-315-9240
 E-mail:market@ki21.jp

ゆたかな未来へ
 京都の京信、滋賀の京信、大阪の京信
 コミュニティ・バンク京信は
 地域と共に歩みます

京都信用金庫
<http://www.kyoto-shinkin.co.jp/>
 京都市下京区四条通柳馬場東入 TEL(075)211-2111

新通帳 三輪晃久 作「美しい春」 祇園・糺橋

第3回 情報化プラザ（IT関連セミナー） 開催のご案内

主催：(財)京都産業21・京都インターネット利用研究会

今回の情報化プラザは、前半に中小企業のIT導入事例の発表を、後半では「ウェアラブルコンピュータ※」についての話をお聞きます。

『企業のIT活用の現在から近未来まで』をご一緒に体験しましょう!!

※ウェアラブルコンピュータとは…服やカバン、腕時計のように身につけて(wear)利用するコンピュータ

内 容 ● 第1部 事例発表 「中小企業はこんなITで経営課題を解決しました!」

中小企業のIT導入事例について、導入側の中小企業、納入側のIT業者・ITコーディネータ等から“導入体験”をお聞きます。

第2部 講演 「ウェアラブルコンピュータの産業応用 ～ビジネスチャンスはウェアラブルにある～」

講師：京都大学 学術情報メディアセンター 義久智樹 氏

コンピュータを身体に装着して利用するウェアラブルコンピューティング。ヘッドマウントディスプレイやウェアラブルパソコンなど、産業への広がりもみせています。本講演では、ウェアラブルコンピューティング産業の現状と今後についてお聞きます。

- 日 時 ● 2006年2月23日(木) 13時～16時
場 所 ● 京都国際会館 ルームC (地下鉄「国際会館」駅下車)
定 員 ● 70名(先着順)
入 場 料 ● 無料

参加をご希望される方は、ホームページからもしくは、「プラザ」とお書きいただいたうえで、貴社・貴団体名、参加される方のお名前、ご住所、お電話番号、インターネット利用研究会参加の有無をお書きいただき、以下のFAX番号までお送りください。

※いただいた個人情報はお申込の確認以外に利用することはありません。

【ホームページ <http://www.ki21.jp> / お申し込みFAX番号 075-314-4720】

【お問い合わせ先】

(財)京都産業21 産業情報部(原田)

TEL:075-315-8677 FAX:075-314-4720
E-mail:info@ki21.jp

向かい合うおつきあいから、
となり合うおつきあいへ。
つねにみなさまの傍らにいて、ともに肩を並べ、
声を掛け合いながら、まっすぐに同じ夢、
同じ目標に向かって歩んでいきたい。
ともに喜びを共有できるおつきあい。

On Your Side。一緒にうれしい。

みなさまのすぐとなりに京都中央信用金庫がいます。



京都 中央信用金庫

京都市下京区四条通烏丸西入ル
TEL.075-223-2525
www.chushin.co.jp

京都試作プラットフォーム説明会 開催について

京都府、(財)京都産業21では、京都の高い技術力を備えた優れた中小企業や大学の集積等を活かして、「試作」を京都の新たな産業とし、活力ある地域づくりを実現することを目的として「京都試作産業プラットフォーム構築」を推進しております。

このたびは、このプラットフォームの中核となる試作受発注支援システム開発の現状について、取り組み状況を報告するとともに、本システムについて、広くご意見をお伺いするため、下記の予定で説明会を開催します。

なお、本システムについては、京都ビジネスパートナー交流会2006の会場においてもブース出展しますので、併せて宜しくお願いします。



京都ビジネス交流フェア会場で京都試作プラットフォーム説明会

- 日時 ● 2006年2月23日(木) 午後
- 場所 ● 国立京都国際会議場「RoomB-1」
- 内容 ● ① 京都試作産業プラットフォームシステム開発の状況について報告
② 今後のスケジュール等について
③ その他
- 参加費用 ● 無料
- 定員 ● 150名(定員になり次第締め切らせて頂きます)

【お問い合わせ先】

(財)京都産業21 産業情報部(小林)

TEL:075-315-8677 FAX:075-314-4720
E-mail:info@sisaku.com



SOLARは京セラ

京セラの太陽光発電システム
—— 中部国際空港「セントレア」で稼働中 ——

中部国際空港展望デッキ屋上
出力: **240kW**

THE NEW VALUE FRONTIER

KYOCERA



写真提供: 中部国際空港株式会社

京セラ株式会社

www.kyocera.co.jp



京都産業21が設備投資を応援します!

企業の方が必要な設備を導入しようとする時、希望される設備を財団が代わってメーカーやディーラーから購入して、その設備を長期かつ低利で割賦販売またはリースする制度です。

区分	割賦販売	リース
対象企業	原則、従業員20人以下(ただし、商業・サービス業等は、5名以下)の企業ですが、最大50名以下の方も利用可能です。	
対象設備	機械設備等(土地、建物、構築物、賃貸借用設備等は対象外)	
対象設備の金額	実績が1年以上あれば100万円~6,000万円まで利用可能です。	
割賦期間及びリース期間	7年以内(償還期間) (ただし、法定耐用年数以内)	3~7年 (法定耐用年数に応じて)
割賦損料率及び月額リース料率	年2.50% (設備価格の10%の保証金が契約時に必要です)	3年2.990% 4年2.296% 5年1.868% 6年1.592% 7年1.390%
連帯保証人	一定の要件を満たす連帯保証人が必要です。	

割賦販売とリース、どちらにしますか?

それぞれの特徴をご理解のうえ、皆様に合った方をお選びください。

	割 賦	リ ー ス
所有権	・完済まで財団に所有権があり、完済すると所有権が割賦企業に移転します。	・リース期間中及びリース期間終了後においても所有権は財団にあります。(リース期間満了後は、返還するか再リースするかを選択していただけます。)
メリット	・償還は6ヶ月据え置きです。 ・設備価格相当分は減価償却ができます。また、割賦損料部分は経費処理できます。 ・償還期間が法定耐用年数以内であれば最長7年と長期であるため、月々の償還負担が軽減できます。	・リース料は経費として全額経費処理できます。(そのため、節税効果があります) ・減価償却、固定資産税、損害保険料の支払いなどは財団が負担します。(管理事務も不要) ・契約時に自己資金が不要です。
留意事項等	・契約時に保証金として設備金額の10%を納付していただけます。 ・財団を受取人とした損害保険(火災保険)をかけていただけます。(保険料は企業負担) ・割賦設備の固定資産税を負担しなければなりません。 ・維持管理費は負担していただけます。	・維持管理費は負担していただけます。 ・リース期間中は、リース設備の更新及び中途解約はできません。 ・リース期間満了後、ご希望により、原契約の1か月分のリース料で1年間の再リース契約が可能です。再リースは何回でもできます。 ・リース設備は再販可能なものに限りです。



地球のココロおどらせよう

ゲームソフトから
モバイルコンテンツまで
多彩なデジタルエンターテインメントを
創造し、広く社会に貢献します。

株式会社 トーセ

〒600-8091 京都市下京区東洞院通四条下ル
TEL.075-342-2525 FAX.075-342-2524

事業内容…◎ゲームソフト企画・開発 ◎モバイル・インターネット関連コンテンツ企画・開発・運営
グループ会社…株式会社ティーネット/東星軟件(上海)有限公司/東星軟件(杭州)有限公司/Tose Software USA, Inc.

ホームページ <http://www.tose.co.jp/> <証券コード4728、東証・大証一部上場>



アコー電子工業株式会社
代表取締役 大槻泰子 氏

住 所 ● 京都市右京区西院西寿町16番地
TEL ● 075-311-9336
FAX ● 075-311-2876
URL ● <http://www.ako-denshi.co.jp>
業 種 ● プリント基板製造

●事業の状況などをお聞かせください。

当社はプリント基板の試作製造を核として、短納期、高品質な製品づくりを行っています。積極的な設備投資を行っており、この業界の中小企業ではめずらしい社内一貫製造システム体制を構築しています。

ラインをオートメーション化していないバッチスタイルで、どの工程からでも製造に入れるためフレキシブルな生産が可能です。現状、その強みをいかした「試作品の短納期」という対応がお客様に支持され、インターネットを中心とした受注で全国から注文をいただいています。

現在、約100社のお客様と取引があります。また、新技術を積極的に取り入れ、多種多様な素材を利用した新たな分野のプリント基板製造にも挑戦しています。

●貴社のお客様と発注部門などについてお聞かせください。

当社のお客様は、幅広く多岐に涉りますが、主に航空機、自動車関連機器から家電製品、アミューズメント製品、半導体を製造されている企業です。発注部門は開発の最前線である技術開発部門となります。プリント基板は、機器やシステムの心臓部に位置するため、極端にチリやホコリを嫌います。そのため、生産現場はクリーンな環境が前提になります。したがって、お客様のハイテク製品を支える高い精度と信頼性が要求されますので、日本の技術の集約されたものといえるのではないのでしょうか。

●今回の設備貸与についてお聞かせください。

設備貸与と制度の利用は今回で2度目となります。現状の設備では昨今非常に多くなった70ミクロン幅の製造が難しくなってきたのと、さらなる生産効率をアップさせるため決断しました。生産現場では各工程で基板表面を整面する作業が不可欠です。この機械の導入によりプリント基板表面の整面精度が数段上がり、各工程においても作業のスピード化が促進し、製品不具合も極めて少なくなり製造コストの低減化が図れました。

また、設備導入に際し、財団職員の方からの情報提供や的確なアドバイスは、他業種の動向が分かり新規営業に役立ちました。

金融機関とは別枠になることと、設備設置後、迅速に支払ってもらえる為、導入設備のメンテナンス等にも便宜を図ってもらえることも大きな要因です。

●モノづくりの考え方・姿勢についてお聞かせください。

最新の設備も大事ですが、やはりモノづくりの「心」が基本になると思います。当社の製品は、完全受注生産ですので、お客様のきびしい要求にいかに対応していくかがポイントです。ふりかえって考えると、お客様に教えていただくことがたくさんありました。それらの経験と培ってきたノウハウ、それと技術力、加えて日本人が持つモノづくりの心、こだわりだと思います。当社は、心のこもった製品づくりで、社員全員がひとつの方向に向かって進んでいくことが大切だと考えています。

●今後の事業展開や抱負について

事業活動において、どんな局面でも「これでいい」ということで満足するということはあってはならないと考えています。つねに一歩前を見て、技術や品質の向上に取り組むことが重要と考えています。

プリント基板のスペシャリストとして、時代の先端ニーズに対応していかなければいけません。そのために、社員には技術の研鑽の重要性を訴求しています。この考えを浸透させることが事業発展につながるものと確信しています。

【お申し込み・
お問い合わせ先】

(財) 京都産業21 産業振興部 設備導入支援グループ

TEL:075-315-8591 FAX:075-315-9240
E-mail: setubi@ki21.jp



人材派遣はパソナ。

- 人材派遣/請負
- 新卒派遣
- 人材紹介
- 再就職支援

ホームページ www.pasona-kyoto.co.jp/

株式会社パソナ京都

京都本社 TEL.075-241-4447
京都市下京区四条通堺町東北角四条KMビル4階
滋賀支店 TEL.077-565-7737
草津市大路1-15-5ネオオフィス草津



受発注あっせんについて

このコーナーについては、産業振興部 マーケティング支援グループまでお問い合わせください。

なお、あっせんを受けられた企業は、その結果についてご連絡ください。

マーケティング支援グループ TEL.075-315-8590 (本情報の有効期限は2月10日までとさせていただきます)

—本コーナーに掲載をご希望の方は、上記マーケティング支援グループ(担当:廣田)までご連絡ください。掲載は無料です。—

発注コーナー

業種 No.	発注品目	加工内容	地域 資本金 従業員	発注条件							
				必要設備	材料等	数量	金額	支払条件	希望地域	運搬	備考
機-1	機械部品の切削加工(精度±0.01~±0.02)鉄、ステン、アルミ		京都市南区 500万円 4名	汎用フライス、NCフライス、MC、NC旋盤、汎用旋盤他		話し合い 話し合い	話し合い	15日×翌月10日支払 10万円未満現金 10万円以上手形120日	不問	受注側 持ち	材料支給無し。
機-2	精密小物部品(アルミ、SUS、鉄)	汎用旋盤・汎用フライス加工	京都市上京区 1000万円 34名	汎用旋盤、汎用フライス他		1~10/lot 話し合い	話し合い	20日× 翌月20日支払 全額現金	不問	話し合い	自社にて加工できる工場を希望
機-3	精密部品の切削加工φ10×150L(ABS樹脂)		京都市伏見区 500万円 18名	小物NC旋盤他		100~200個 /回 話し合い	話し合い	月末日× 翌月末日支払 全額現金	不問	受注側 持ち	材料支給無し。 継続取引。
機-4	精密機械部品(ステン・鉄・アルミ)小物~大物	切削加工	京都市南区 1000万円 20名	MC、NC旋盤、NCフライス他		話し合い 話し合い	話し合い	月末日× 翌月末日支払 全額現金	不問	受注側 持ち	材料支給無し。 継続取引希望。
織-1	ゆかた、ねまき(単衣用)、木綿・合成繊維	裁断~縫製~仕上(ミシン縫製)	京都市上京区 1000万円 8名	関連設備一式		話し合い 話し合い	話し合い	月末日× 翌月末日支払 全額現金	京都・滋賀	片持ち	

受注コーナー

業種 No.	加工内容	主要加工 (生産) 品目	地域 資本金 従業員	主要設備	月間の希望する 金額等	希望する 地域	備考 (能力・特徴・経験等)
機-1	ユニバーサル基板、ケース・BOX加工組立配線、装置間ケーブル製作、プリント基板修正改造		京都市伏見区 個人 1名	組立・加工・配線用工具、チェッカー他	単品試作品~ 小ロット	京都府内	経験32年 性能・ノイズ対策を考えた組立、短納期に対応、各種電子応用機器組立経験豊富
機-2	精密機械加工(アルミが得意、鉄、ステン、チタン、銅他)	半導体関連装置部品、包装機部品等	京都市南区 300万円 5名	立型MC3台、ラム型汎用フライス2台、立フライス1台、横フライス1台、2.5D CAD/CAM1台、汎用旋盤1台、ボール盤他	試作品~量産品	京都・滋賀・ 大阪	運搬可能
機-3	産業用ロボット・自動制御装置の設計~加工~組立		京都府久御山町 300万円 6名		話し合い	京都府内	運搬可能
他-1	ブランド戦略企画提案、戦略的トータルデザイン(製品~マーケティング)、IR・CSRコンサルテーション		京都市下京区 1000万円 5名	パソコン(Win&Mac)、関連機器	話し合い	不問	経験36年 これからの経営品質にとって重要なことは「知られること」「好かれること」により、信頼のつながりを創造する力です。
他-2	各種電子応用計測制御機器のコンピュータシステム設計(ハードウェア設計及びソフトウェア開発)、計測制御用パソコンソフトウェア開発	各種自動運転機器、自動制御計測機器、各種分析計等の電子部門	京都府城陽市 個人 3名	PC、レーザープリンタ、スキャナ、回路設計用CADソフト、オシロスコープ、デジタルマルチメータ、組込マイコンソフト開発用インサーキットエミュレータ、各種ソフト開発設備	単品~量産試作品まで対応	不問	経験23年 昭和59年創業以来、各種電子応用計測機器開発を主に手がけ経験豊富。

遊休機械設備の紹介について

このコーナーについては、産業振興部 マーケティング支援グループまでお問い合わせください。
当財団のホームページにおいても掲載しています。
なお、紹介を受けられた企業は、その結果についてご連絡ください。
マーケティング支援グループ TEL.075-315-8590

*財団は、申込みのあった内容を情報として提供するのみです。価格等取引に係る交渉は直接掲載企業と行っていただきます。

売りたいコーナー

No.	機械名	形式・能力等	希望価格
001	NC油圧三ツ爪バワチャック(2台)	松本機械工業(株)、HA5-6(V)M、6インチ(M40)	話し合い
002	ミーリングドリリング	ハマテック(株)、GH-3M	話し合い
003	スラックスシーム割プレス	ナオモト、NP-180	20万円

買いたいコーナー

No.	機械名	形式・能力等	希望価格
001	スクロールチャック4爪	メーカー不問、一体硬爪タイプ、4インチ、ハンドル付	話し合い

お知らせ
Information

詳細は
同封の資料を
ご覧ください。

技術アライアンスコーナー(商談会)面談対策セミナー 開催ご案内

～新規顧客獲得のためのプレゼン実践セミナー～

希望メーカーとの面談当日、頭では分かっているのにうまく自社の魅力を表現できなくて、せっかくのチャンス逃して悔しい思いをしたことはありませんか?(財)京都産業21では、より熱い商談を実現するため、本セミナーを開催いたします。ふるってご参加ください。

※「技術アライアンスコーナー」面談希望者以外も参加可能です。この機会に、是非ご利用ください。

日 時	平成18年1月26日(木) 13:30～17:00	講 師	吉田 史朗氏 (S&Gビジネスディレクション(株)代表取締役社長) URL http://www.sandgbd.com
場 所	京都リサーチパーク 東地区 1号館4階 AV会議室 (〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134)	定 員	40名
内 容	■レクチャー ～プレゼンテーションとは～ ■演習	受 講 料	無料
		お申込方法	同封の技術アライアンスコーナー案内資料の本セミナー「受講申込書」にてお申込ください。

【お申し込み・
お問い合わせ先】

(財)京都産業21
マーケティング支援グループ(廣田・奥代)

TEL:075-315-8590 FAX:075-315-9240
E-mail:market@ki21.jp

知の創造と連携を軸に

関西大学 社会連携推進本部



関西大学社会連携推進本部は、産学官連携、知的財産管理そして地域との共生を目指して発足し、傘下に産学官連携・知財センターと地域連携センターを設置しています。

社会連携推進本部は、社会と大学の連携の窓口としての機能を果たし、産業界あるいは地域・社会からのニーズに合った連携をコーディネートし、大学の保有する知的資源、人的資源を最大限に活用し、社会に還元できるように連携活動を展開しています。

関西大学は7学部を有する総合大学であり、理工系のみならず社文系を含めた総合力を以って様々な連携事業を推進しています。

活動内容

- 共同研究、委託研究、試験分析の受入れ
- 企業を対象とした各種研究会、セミナーの定期開催
- 技術相談、シーズ紹介、展示会
- 教育、文化、まちづくり等における連携事業



【お問い合わせ先】

関西大学 社会連携推進本部
産学官連携・知財センター

TEL:06-6368-1245 FAX:06-6368-1247
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 E-mail:syakairenkei@jm.kansai-u.ac.jp

未来ってどうなっているんだろう？

空飛ぶ車、ロボット、飛び出す映画…。
私たちの仕事は電子部品というタネを、
エレクトロニクスの世界に送り込むこと。
つまり、あなたが想像する豊かな未来を実現すること。
携帯電話、カーナビ、パソコン…。
ほら、ちょっと前に想像していた未来が、
もう今は実現されているでしょう？
私たちの創る小さな部品は、未来の始まり。
小さな部品で、エレクトロニクスの世界に
たくさんの花を咲かせていきます。



未来を創る。
ムラタの部品が

組込みシステム研究会の紹介

携帯電話、AV機器、家電製品、自動車等の様々な製品には付加価値を高める目的でコンピュータが組み込まれています。このような製品(組込みシステム)の開発には、高度で複雑なシステム構築のための様々な専門知識と技術的ノウハウが必要不可欠です。そこで京都府中小企業技術センターでは、家電製品や産業機器など組込みシステム機器の製品開発における高度化、効率化の支援を図るために組込みシステム研究会を開催しています。今回は10月から12月に開催した内容についてご紹介します。

講演「PLD*の最新動向とその可能性」

講師:アヴネットジャパン株式会社 第一プロダクトマーケティング部
スペシャリストAE 大牧 正知 氏

PLDを取り巻くテクノロジーは驚くべき速度で進化を遂げその需要が大きく伸びてきている背景を受け、業界でリーディングカンパニーであるXilinx社のCPLD*とFPGA*製品を取り上げ、その最新動向と可能性について解説を行いました。



PLD(Programmable Logic Device) … プログラミングを行いロジック回路(デジタル回路)を形成したり変更したりすることができる。PLDの種類を大きく分けると、次のCPLDとFPGAとに分類できる。
CPLD(Complex PLD) … 最大1万ゲート程度のロジック回路を有し超低消費電力で安価なものを主に指す。
FPGA(Field Programmable Gate Array) … CPLDより高集積度で現在800万ゲートを提供するものがある。

講演「FPGAを用いた組込みシステム開発環境とその応用例」

講師:独立行政法人 産業技術総合研究所 情報技術研究部門
実時間組込システム班長 戸田 賢二 氏

ユビキタスコンピューティング実現のため、通信機能に加え様々な固有機能に対応でき独自の入出力も容易に付加できる組込みシステム開発環境について紹介しました。

これは大容量のFPGAとメモリを搭載しシリアル的高速通信ポートを複数持つボードを中心に、これを複数組み合わせたり、必要なI/Oボードを付加したりする柔軟な構成が可能で、通常のLinuxや実時間のLinuxが動作するもので、あわせてこのボードを使用した応用例についても紹介しました。

トレーニングセミナー「組込みソフトウェア(TOPPERS)初級実装セミナー」

講師:当センター 応用技術室 吉田 秀之

組込み技術初級者の方を対象に、リアルタイムOSを利用した組込みソフトウェア開発の初歩を学習することを目的に実習を取り入れたセミナーを開催しました。

セミナーでは、TOPPERS/JSPカーネル*上へのアプリケーション・プログラム実装を通して、リアルタイムOSに対する実装技術の習得や、開発時における分析、設計、実装プロセスの理解を深めることを目的に、フリー(無料)な開発環境(WindowsでCygwinを使用)で、実際にパソコンを利用してプログラムを動かす実習を行いました。



TOPPERS/JSPカーネル

μITRON4.0仕様(組込み用途に特化したITRON仕様)に準拠したリアルタイムOSで、TOPPERSプロジェクトにて開発されたもの。JSPはJust Standard Profileの略で、μITRON4.0仕様のスタンダードプロファイル規定に従って実装されている。オープンソースソフトウェアとして公開。 <http://www.toppers.jp/>

今後の研究会開催のご案内は、研究会ホームページ及び当センターのメールマガジンにてお知らせします。
組込みシステム研究会ホームページ → <http://www.mtc.pref.kyoto.jp/kenkyukai/embedded/>

【お問い合わせ先】

京都府中小企業技術センター
応用技術室 電子・情報担当

TEL:075-315-8634 FAX:075-315-9497
E-mail:embedded@mtc.pref.kyoto.jp

けいはんな技術交流会の紹介

京都府中小企業技術センターでは、学研都市地域にある企業研究機関の研究者と府南部地域の企業の皆様との人的ネットワークの輪を広げ、ニーズとシーズのマッチングの機会を設けることにより、活力ある企業群の形成を目的として「けいはんな技術交流会」を開催しています。平成17年度、現在までに開催しました2回について、その概要をご紹介します。

「最近のチェーンの技術動向について」

株式会社椿本チエイン 開発・技術センター 研究開発部長 理事 高橋 利夫 氏

環境配慮の工場を目指し、2002年4月に大阪市内から京田辺市に移転稼働。京田辺工場は産業用チェーン生産を主力とする工場で、チェーンは、基本的な部品5つ（外プレート、内プレート、ピン、プシュ、ローラ）からなります。それがたくさんつながって製品ができあがる単純なもののですが、構成する要素には基礎技術が詰まっています。生産するためには各要素技術の“擦り合わせ”が必要です。安定した品質で大量生産をするのは難しく、中国をはじめとする外国勢においそれとは真似できないものです。

各構成要素に要求される技術は、材料技術、加工技術、評価技術の3種類があげられます。材料技術については、要求される性能を満たす鉄鋼材料を選び、また要求性能に揃えるための材料の熱処理技術も重要です。加工技術では、鉄鋼材料を所定の形状どおり切り出す切削技術、プレス加工するための塑性加工技術、耐摩耗性や耐食性を向上するための表面処理技術があげられます。評価技術では、成形された材料が所定の成分でできているか評価する化学分析技術、製品の信頼性を確保するための摩耗試験、疲労試験や騒音試験も行います。解析から得られたデータに基づき新商品開発の技術力向上につなげています。この3つの技術がうまく噛み合うことでいい製品が供給できると考えています。

（平成17年度第1回けいはんな技術交流会 H17/10/21 (株)椿本チエイン京田辺工場）



「オムロンで取り組む技術の紹介—技術本部での取組」（技術本部—将来の事業のための技術構築）

オムロン株式会社 企画室担当部長 野寺 久敏 氏

オムロンの事業内訳は、大きく分けて、①制御機器、FAシステム事業、②電子部品事業・車載電装部品事業、③公共・交通・セキュリティ事業、④健康機器・健康サービス事業があります。その中で、技術シーズから市場を刺激して事業を作り出す、つまり「センシング&コントロール」を独自技術として進化し新事業領域を開拓するのが、技術本部の役割です。人と機械の理想的な調和を目指して、機械にできることは機械に任せ、人にやさしい社会の実現を目指しています。現代を情報化社会から最適化社会の段階にあるとすると、最適化社会を実現するためには、①入力されたデータから人やシステムに価値ある情報を抽出し賢くする「センシング&コントロール」の実現、②ナノレベルの世界に挑む「先端デバイス」の実現、③このセンシング&コントロールと先端デバイスの小型化及び高速化が必要と考えています。

「センシング技術—顔画像センシング」

オムロン株式会社 技術本部センシング&コントロール研究所 OKAOプロジェクト

技術専門職 勞 世竝 氏

人が機械に合わせて作業している現状から、機械が自動的に人を認識して人に合わせて作業することで、「人と機械のベストマッチング」を実現できると考えています。OKAOプロジェクトは、人の「顔」の中に多量の情報があり、それらを検出加工することで有益な情報を生活に提供するものです。高速で処理できるアルゴリズムを組み立て、一連の処理を小型の装置に組み込み（ワンチップ化）することで、日常生活の中に使用されることになりユビキタス社会が実現できます。

（平成17年度第2回けいはんな技術交流会 H17/11/17 オムロン(株)京阪奈イノベーションセンタ）



光を用いた液相中の微量成分モニタリング

産学公連携推進室 連携企画担当 安達雅浩

1 はじめに

微量サンプル同士の反応・合成・分離をワンチップ上で行えるマイクロプラントやラボオンチップ(微量サンプルへの総合分析チップ)は、バイオ関連、医療・製薬、食品製造、環境計測分野においてニーズが増加しており、試薬量の軽減、研究開発リードタイム短縮等に大きく寄与できると期待されています。しかし検出部に関しては、従来からの測定法を適用しているにとどまり、むしろ測定制限のある中で、反応試薬性能を向上せざるを得ない状況になっているのが現状です。このような背景において、サンプルの微量化に合わせた最適な検出手法、高感度な定量化測定技術の向上を目的に本テーマに関する研究を行っています。

2 提案手法

サンプル固有の吸収波長と吸光量により計測可能な吸収分光法は、液相中サンプルの定量化において、蛍光検出法、質量分析法、電気化学法に比べ、ユニバーサルでかつ非破壊測定が可能な大変有用な方法です。しかし従来の吸収分光法をそのまま微量サンプル測定に適用すれば、光路長が極端に短くなるため吸光量が僅かとなり測定できません。一般に吸収分光法の測定限界は、吸光度差 $\Delta A = 10^{-3} \text{cm}^{-1}$ (1/1000以下の吸光度の差は測定不能)であり、1 cmの光学セルで吸光度0.1のサンプルを用いてラボオンチップの50 μm の流路で測定した場合、実質的には吸光度0.0005となり、測定限界を超えてしまいます。

そこで図1のように、2つの鏡で構成したキャビティー内にレーザー光を閉じ込めることで、従来の吸収分光法の検出感度の制限となる光路長を実質的に長尺化可能な「キャビティリングダウン分光法」に注目し、微量サンプル測定への適用を試みました。従来、本手法はガスの高感度測定法として用いられていましたが、図2のように光ファイバと光通信分野で用いられる部品を組み合わせることで大変容易でコンパクトに構成でき、かつ光ファイバのサイズと微量サンプルの流路との相性がちょうど良いことがメリットです。図3にデバイス概観図を示します。

3 結果

サンプルにメチレンブルーを用いて、波長660nm、光路長50 μm での測定結果を図4に示します。吸光度0.1での測定感度も有しており、 $\Delta A = 5 \times 10^{-4} \text{cm}^{-1}$ であることを確認しました。今後更なる高感度化を行い、ラボオンチップ検出部への実用化を目指します。

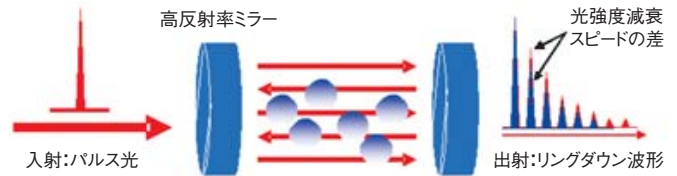


図1 キャビティリングダウン分光法原理

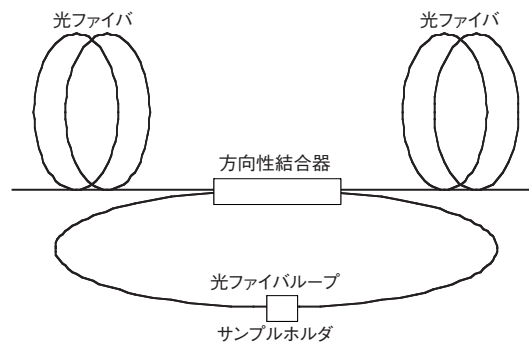


図2 提案手法(特許公開中)

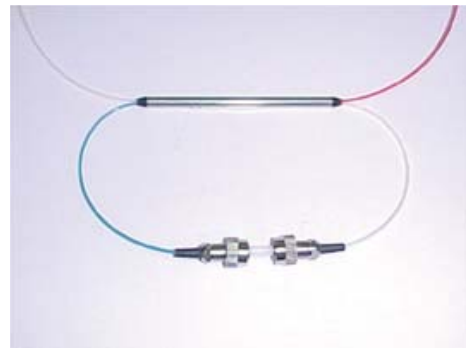


図3 デバイス概観

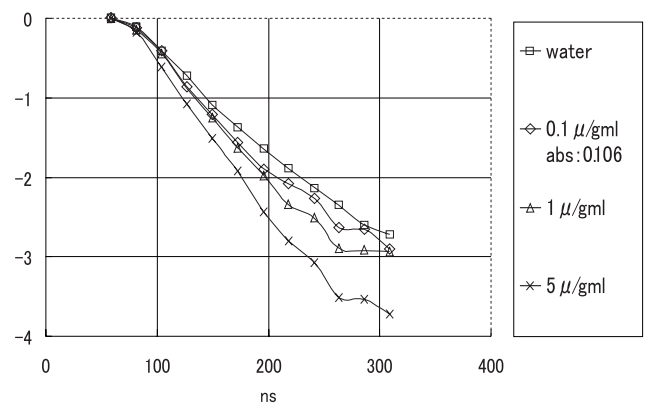


図4 実験結果

※研究の詳細はホームページ→<http://www.mtc.pref.kyoto.jp/gihou/giho-33/giho33.htm>をご覧ください。

【お問い合わせ先】

京都府中小企業技術センター
産学公連携推進室 連携企画担当

TEL:075-315-8635 FAX:075-315-9497
E-mail:sangaku@mtc.pref.kyoto.jp

～材料・機能評価担当から～

京都府中小企業技術センターでは、中小企業が自らの「強み」を再認識し、これを生かして力強く活動できるよう、自社だけでは対応が困難な技術開発等に関する支援を行うとともに、各種固有技術の相談や技術的裏付けをとる依頼試験や機器開放（貸付）による開発支援などを行っています。

基盤技術室の材料・機能評価担当では、製品開発の促進、品質向上を支援するため、特に材料の強度・硬さ・磨耗などの試験や金属組織試験、材料の微小部X線分析、赤外分光試験などを実施しています。また、必要に応じて技術指導も行っていきます。

今回はこれら事業概要とあわせて、17年度に新規導入した設備のご紹介をします。

ぜひ、皆様の身近な技術サポートセンターとしてご利用ください。

依頼試験の種類

- (1) 材料の強度試験 万能材料試験機、インストロン、シャルピー衝撃試験機などを使用して、工業材料の引張・圧縮・荷重・抗折、曲げ等の試験、衝撃試験、疲れ試験などを行っています。
- (2) 硬さ試験 マイクロビッカース、デジタルロックウェルなどの硬度計を使用して、工業材料のビッカース、ロックウェル、ブリネルなどの硬さの試験や硬度分布試験を行っています。
- (3) 磨耗試験 回転動摩擦磨耗試験機、往復摺動摩擦磨耗試験機などを使用して、工業材料の磨耗試験を行っています。
- (4) 金属組織試験 金属顕微鏡を使用して、金属組織の表面観察を行っています。
- (5) 微小部X線分析 電子線マイクロアナライザー装置 (EPMA) を使用して、工業材料の表面のX線像、線分析・点分析の元素分析を行っています。
- (6) 赤外分光分析 フーリエ変換赤外分光光度計を使用して、有機材料や有機物の異物の特定を行っています。

技術講習等

京都府溶接技術競技会の実施

溶接構造物の溶接の品質は、溶接作業に携わる人たちの個人的技量に左右されるため、溶接技術の向上と安全標準作業の遵守を図るため、溶接技術競技会を実施しています。この競技会は、(社)日本溶接協会京都府支部、(社)日本ボイラ協会京都府支部、京都府鉄構工業協同組合との共催事業として、溶接の全体的なレベルアップを促進するために毎年開催し、最も成績が優秀であった知事賞受賞者は全国大会に出場しています。

『電子線マイクロアナライザー装置』の講習会のご案内

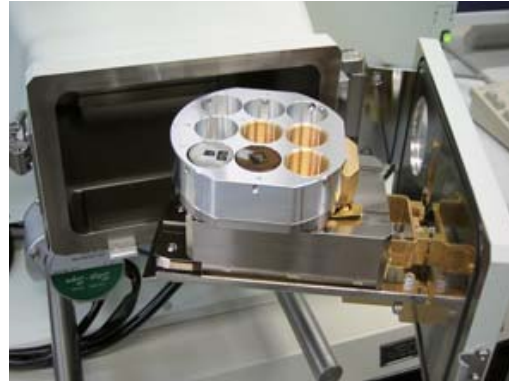
- 1 日 時 平成18年1月20日(金)
午前の部(午前9時30分から12時まで)
午後の部(午後1時30分から4時まで)
- 2 場 所 当センター 3階電子顕微鏡室
- 3 講習会の内容 講師:日本電子株式会社 専任副理事 小野芳章 氏
電子線マイクロアナライザー装置の原理、装置紹介、事例紹介
- 4 定 員 各10名
- 5 参加費 無料
- 6 申込締切 平成18年1月13日(金)
- 7 申込先・申込方法 技術支援部 基盤技術室 材料・機能評価担当
電話075-315-8633 ファックス075-315-9497 E-mail kiban@mtc.pref.kyoto.jp
申込書にご記入の上、郵送、ファックス、E-mailでお申し込みください。申込書は当センターホームページ (<http://www.mtc.pref.kyoto.jp/gyoji/2005/kikikoushu.html>) からダウンロードできます。

電子線マイクロアナライザー装置 (EPMA)

当センターでは、平成17年度に日本自転車振興会から競輪の補助金を受け、電子線マイクロアナライザー装置を新しく導入しました。

具体的な分析事例としては、製品・部品の混入物・付着物の元素分析検査、製品・部品の汚れの元素分析検査、特定元素の分布状況、表面処理品・熱処理品の元素濃度分布測定に利用します。

今後、企業の皆様に機器貸付や依頼試験等でご活用いただき、製品開発や品質管理にお役立ていただきますようご案内します。



機器名 電子線マイクロアナライザー装置 (JXA-8200)

メーカー名 日本電子株式会社

仕様 電子銃 高輝度LaB6及びタングステンの切り替え可

最大試料寸法 100×100×50mm **波長分散法 (WDS)**

加圧電圧 0.2~30KV 分析元素範囲 ホウ素 (B) からウラン (U) まで

照射電流範囲 10^{-12} ~ 10^{-5} A 分光器数 5チャンネル

二次電子像分解能 5nm (LaB6) **エネルギー分散法 (EDS)**

走査倍率 X40~300000 分析元素範囲 ベリリウム (Be) からウラン (U) まで

透過電子検出器 エネルギー分解能 133eV以下

カソードルミネセンスシステム

用途 各種材料の微小部元素分析

利用料金			
依頼試験	X線像	1成分	10,000円
	線分析	1成分	10,000円
	点分析 定性	1件	16,000円
機器貸付	WDS又はEDS	1時間	5,100円
	WDS及びEDS	1時間	5,700円
	WDS (カラーマッピングを含む)	1時間	6,400円
	全仕様	1時間	7,100円

豊富な分析ソフト 定性分析、半定量分析、定量分析 (ZAF法、検量線法、Bence&Albee法、Phi-Rho-Z法、薄膜定量)、状態分析、線分析、面分析 (任意形状マップ、任意曲面マップ)、相分析、薄膜定量分析、波形分離ソフト、電子線侵入領域表示ソフト



京都企業がみた2006年の景気動向と 経営見直し（調査レポート）

京都府中小企業技術センターでは、京都府内に本社を置く主要企業を対象に、「2006年の景気動向と企業の経営見直し」についてアンケート調査を実施し、結果を取りまとめましたので、その内容をご紹介します。

◆調査要領

- 調査対象 府内に本社を有する主要企業 2,000社
(回答企業 608社、回答率 30.4%)
- 実施機関 京都府中小企業技術センター
(実施時期 平成17年10月25日～11月11日)

◆調査結果の概要

○京都企業が予測する2006年の景気

- 1 現状(2005年)の国内景気については、DI指数はマイナス7.0であるが、前回調査(平成16年実施)の数値より更に改善しており、あと一歩でプラスに転換するところまで来ている。(図1、図2)
- 2 2006年の景気見直しについては、DI指数がプラスに転じているものの、下期については、景気の回復に慎重な見方がうかがえる。(図3-1、図3-2)
- 3 全ての業種で明るい見直しを持っているが、運輸・倉庫業は上半期には原油価格高騰を受けて中立的な見方である。
- 4 今後の景気動向に対する懸念材料として、「原油価格の高騰」(57.6%)がトップで、次いで昨年と同じく「個人消費の動向」(50.6%)に高い関心が示されている。(図4)

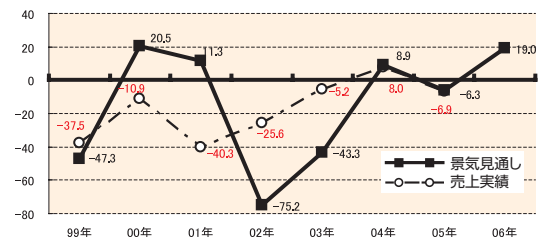
○2006年の自社業績予想

- 1 2005年の業績は、若干、足踏み状況であったが、2006年は大・中規模企業で売上、利益とも回復するものと見込まれている。しかし、小規模企業では引き続き厳しい業況が見込まれている。(図5-1、図5-2)
- 2 設備投資は緩やかな増加傾向にあるものの、設備投資を行わない企業も2割を超える。(図6)
- 3 従業員の雇用については、増員傾向にあり、全ての業種で不足感が強いが、特に運輸・倉庫業、サービス業で不足感が強く、雇用環境は改善に向かっている。

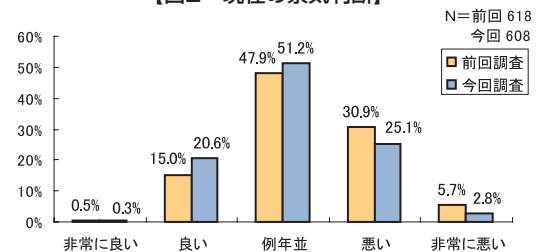
○経営上の問題点

前回は引き続き、「競争激化」(56.9%)、「売上低下」(43.7%)、「原材料・仕入価格上昇」(41.7%)が1位、2位、3位を占めている。景気全体の懸念材料である「原油価格の高騰」は、自社の経営上の問題点としては25.3%で8位となっている。(図7)

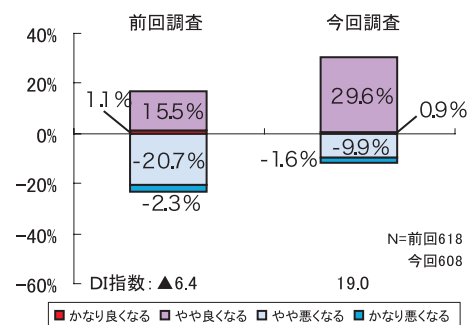
【図1 上半期の景気見直しDIと実際の売上実績DIの推移】



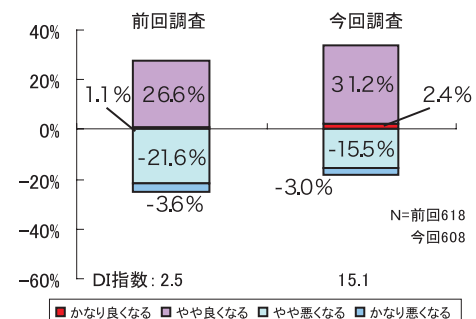
【図2 現在の景気判断】

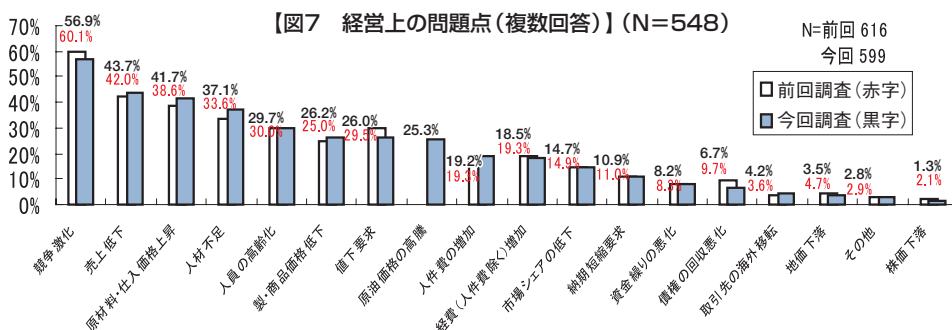
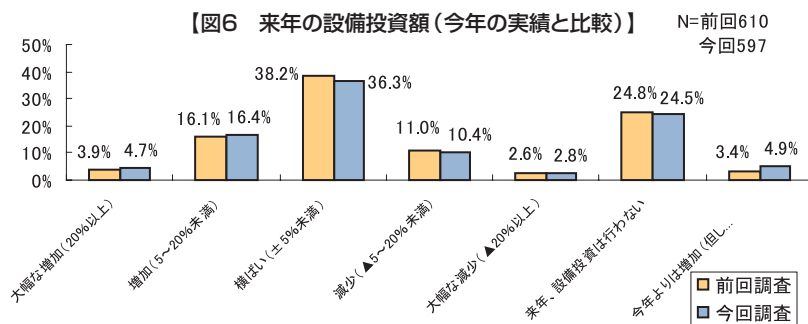
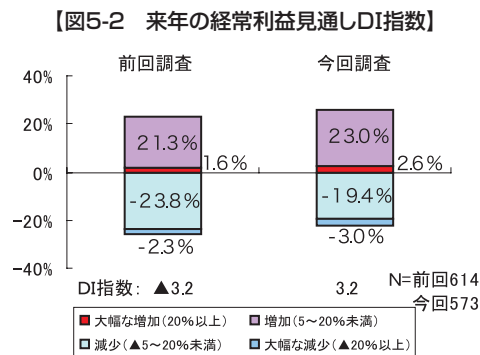
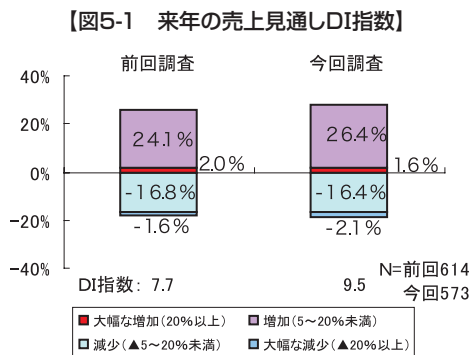
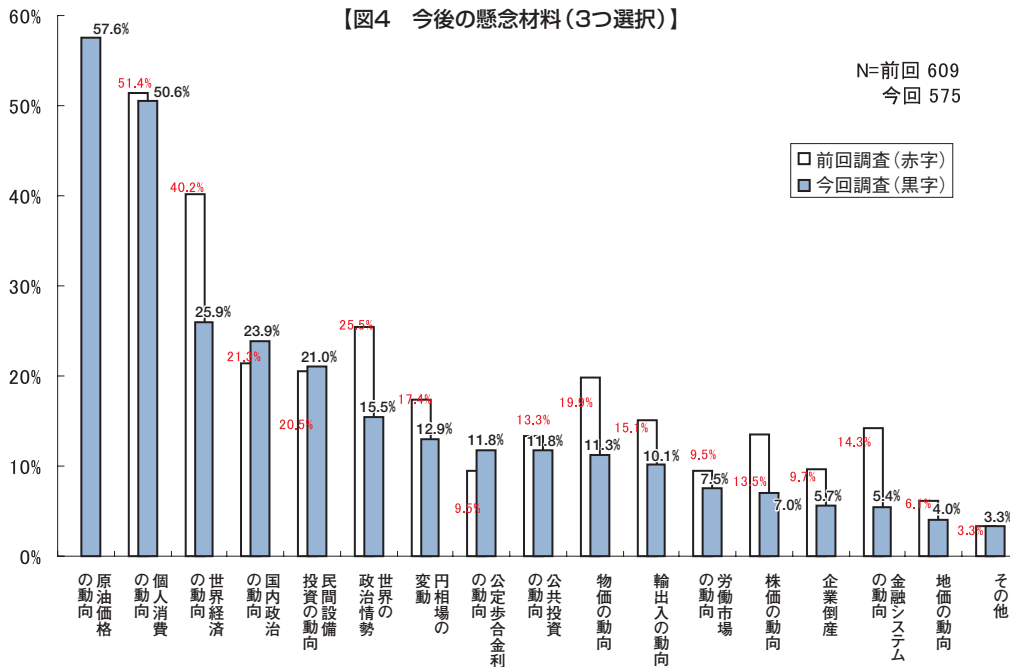


【図3-1 上半期の景気見直し】



【図3-2 下半期の景気見直し】





※ 詳細は、http://www.mtc.pref.kyoto.jp/keiki-mitosi/2006/2006_1.htm に掲載しています。



お問い合わせ先： ●財団法人 京都産業21 主催 ●京都府中小企業技術センター 主催

January 2006.1.

- 12 (木) ●新春賀詞交歓会
時間：17:30～19:00
場所：京都ブライトンホテル「慶祥雲の間」
- 17 (火) ●第4回 ものづくり系企業による“新連携”の構築に向けて
時間：16:00～19:00
場所：京都全日空ホテル
●新春セミナー(社)京都府情報産業協会との共催
時間：16:00～17:30
場所：きょうと平安会館
- 19 (木) ●企業の情報化推進リーダー育成講座
情報処理技術者試験【初級システムアドミニストラータ】①
時間：18:00～21:00
場所：京都府産業支援センター2F
- 20 (金) ●電子線マイクロアナライザー装置講習会
時間：①9:30～12:00 ②13:30～16:00
場所：京都府産業支援センター3F
●第5回 海外展開に向けた“新連携”の構築に向けて
時間：18:00～21:00
場所：京都全日空ホテル
- 23 (月) ●3次元CAD/CAM/CAE体験講習会(CAD・ソリッド)
時間：13:30～16:00
場所：京都府産業支援センター1F
- 24 (火) ●3次元CAD/CAM/CAE体験講習会(CAD・サーフェス)
時間：13:30～16:00
場所：京都府産業支援センター1F
- 25 (水) ●3次元CAD/CAM/CAE体験講習会(CAM・CaelumKKen)
時間：13:30～16:00
場所：京都府産業支援センター1F
- 25 (水) ●中小企業総合展2006大阪会場
時間：10:00～17:00(最終日は16:00終了)
場所：インテックス大阪
- 26 (木) ●京都品質工学研究会
時間：13:10～16:40
場所：京都府産業支援センター5F
●3次元CAD/CAM/CAE体験講習会(CAM・WorkNC)
時間：13:30～16:00
場所：京都府産業支援センター1F
●京都産業21 e-ビジネス倶楽部
時間：16:00～18:00
場所：京都府産業支援センター2F

- 27 (金) ●3次元CAD/CAM/CAE体験講習会(CAE)
時間：13:30～16:00
場所：京都府産業支援センター1F
●創援隊交流会(東京会場)
時間：14:00～17:00
場所：東京全日空ホテル
●企業の情報化推進リーダー育成講座
情報処理技術者試験【初級システムアドミニストラータ】②
時間：18:00～21:00
場所：京都府産業支援センター2F

February 2006.2.

- 1 (水) ●マイクロ・ナノ融合加工技術研究会
時間：13:30～17:00
場所：京都府産業支援センター5F
- 3 (金) ●企業の情報化推進リーダー育成講座
情報処理技術者試験【初級システムアドミニストラータ】③
時間：18:00～21:00
場所：京都府産業支援センター2F
- 8 (水) ●京都陶磁器釉薬研究会
時間：15:00～16:30
場所：京都府産業支援センター5F
- 9 (木) ●企業の情報化推進リーダー育成講座
情報処理技術者試験【初級システムアドミニストラータ】④
時間：18:00～21:00
場所：京都府産業支援センター2F
- 16 (木) ●京都品質工学研究会
時間：13:10～16:40
場所：京都府産業支援センター5F
●企業の情報化推進リーダー育成講座
情報処理技術者試験【初級システムアドミニストラータ】⑤
時間：18:00～21:00
場所：京都府産業支援センター2F
- 23 (木) ●京都ビジネス交流フェア2006
時間：10:00～17:00(2日目は16:30終了)
場所：国立京都国際会館
- 24 (金) ●企業の情報化推進リーダー育成講座
情報処理技術者試験【初級システムアドミニストラータ】⑥
時間：18:00～21:00
場所：京都府産業支援センター2F

専門家特別相談日

(毎週木曜日 10:00～16:00)

○申込は、事前に相談内容を(財)京都産業21 お客様相談室までご連絡ください。
TEL 075-315-8660 FAX 075-315-9091

取引適正化無料法律相談日

(毎月第二火曜日 13:30～16:00)

○申込は、事前に相談内容を(財)京都産業21 産業振興部 マーケティング支援グループまでご連絡ください。
TEL 075-315-8590 FAX 075-315-9240

海外ビジネス特別相談日

(毎週木曜日 13:00～17:00)

○申込は、事前に相談内容を(財)京都産業21 海外ビジネスサポートセンターまでご連絡ください。
TEL 075-325-2075 FAX 075-325-2075

メールマガジン「M&T NEWS FLASH」(無料)をご活用ください!

約1万5千人の方々にお読みいただいております京都府中小企業技術センターのメールマガジンは、当センターや(財)京都産業21、府関連機関が主催する講習会や研究会・セミナーなどの催し物や各種ご案内、助成金制度等のお知らせなど旬の話題をタイムリーにお届けしています。皆さまの情報源として是非ご活用ください。

ご希望の方は、ホームページからお申し込みください。

▶ http://www.mtc.pref.kyoto.jp/mtnews/get_mtnews.htm

「あんしん借換融資」の実施期間が平成18年3月31日まで延長されました。また、原油価格の高騰により影響を受けている中小企業に対しても「あんしん借換融資」が適用されることになりました。詳しくは、(財)京都産業21及び京都府中小企業技術センターのホームページをご覧ください。

— 知ろう 守ろう 考えよう みんなの人権! —

京都府産業支援センター <http://kyoto-isc.jp/> 〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134

財団法人 京都産業21 <http://www.ki21.jp/>

代表 TEL 075-315-9234 FAX 075-315-9091
 けいはんな支所 〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台1丁目7(けいはんなプラザ ラボ棟)
 TEL 0774-95-5028 FAX 0774-98-2202
 北部支所 〒627-0011 京都府京丹後市峰山町丹波139-1(京都府織物・機械金属振興センター内)
 TEL 0772-69-3675 FAX 0772-69-3880

編集協力/ショウワドゥ・イープレス株式会社

京都府中小企業技術センター <http://www.mtc.pref.kyoto.jp/>

代表 TEL 075-315-2811 FAX 075-315-1551
 けいはんな分室 〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台1丁目7(けいはんなプラザ ラボ棟)
 TEL 0774-95-5027 FAX 0774-98-2202



日機利用率100%再生紙を使用しています